

—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—


月刊

ポケットあわじ

10月

残したい 伝えたい 淡路の宝

VOL.185

もくじ

P1・石田の棚田 P2・春陽荘 P3・国清寺 P4・ふるさとの古民具、古農具 P5・淡路遺産「木」
P6・淡路文化会館・淡路消費生活センターからのお知らせ・イベント情報 P7.8 淡路の文化活動・イベント情報



淡路市富島から県道71号富島久留麻線を上がっていくと石田地区の集落と、田んぼが見えてきます。約30ヘクタールの耕作地があり、その多くが棚田で、田植えや稲刈りのシーズンになると夕日が播磨灘に沈む美しい風景が広がり、カメラ愛好者のシャッター音が響き渡ります。

絵になる場所は、大きな農機具が入らず、効率的な栽培はむずかしいので棚田の3分の1以上が放棄田になっているのが現状です。それでも耕作者の皆さんは、日当たりがよく、ミネラルの多い湧水で栽培する農作物は「絶対おいしい」と胸を張り、「集落の農地は自分たちで守る」を合言葉に、棚田の維持に取り組んでいます。

自然の恵みが豊かで美しい棚田が、私たちの「ふるさと」としていつまでも大切に残されることを願っています。

(応援隊：廣岡ひろ子)



カメラマンと棚田

 淡路遺産

絶景！ 夕日に輝く石田の棚田

1,400㎡の敷地には8つの建物があります。



太い石門柱、黒いどっしりとした鉄製門扉

春陽荘

見つけました～！ こんな身近な所に、淡路の宝“淡路遺産”がありました。

それは、平成16年に国の有形文化財に登録された『春陽荘』です。洲本市宇山にある洲浜中学校の正門前を北へ少し進んだところにあります。小洒落た瓦塀と太い石門柱、黒いどっしりとした鉄製門扉を入ると、趣のある和風住宅が建ち並んでいます。この建物は、昭和16年に洲本市由良の旧「岩木造船」社長、岩木秀雄氏が建てました。家相方位学の権威である山本豊圓氏が風水の思想に基づき設計し、地元の大工棟梁齋藤三吉氏らが腕をふるい7年の歳月をかけて完成させました。約1,400㎡の敷地には、貴賓館、客殿、寢殿、常住殿、土蔵など8棟の建物があり、優雅さや風格が漂う趣ある佇まいです。住宅のあちこちに匠の技と遊び心が光ります。またデザイン性に富んだ庭園も見応え十分。



応援隊
認定
淡路遺産

近代風水の館

春陽荘

国登録有形文化財(H16) 兵庫県景観形成重要建造物(H29)



優雅さや風格が漂う趣ある佇まい



デザイン性に富んだ庭園は見応えあり

甘味処「小梅」
営業：連日の午後12:30から午後4時まで



匠の技が光る和室



オーナーの高山 傑さん



茶室「風月庵」

現在この建物は、高山傑さん(旅行会社経営)が所有。淡路島で古民家を探していた高山さんは、歴史的にも芸術的にも非常に価値の高い春陽荘が目にとまりました。そして、貴重な文化財を現代に活かし後世に残したいという思いから2015年に買い受け、補改修を済ませ地域の交流拠点として活用を進めています。これまでにいったイベントは、客殿や常住殿での人形浄瑠璃や和太鼓、書初め、カルタ大会、着物姿の撮影会など。また貴賓館での宿泊やお茶室の利用、そして甘味処“小梅”ではお抹茶などを楽しむこともできます。詳しくは

春陽荘のホームページで。春陽荘を訪れ、直接見て聞いて触れてみて見つけた“淡路の宝”。春夏秋冬四季に眩しく映える島の観光資源。歴史文化的価値ある春陽荘は、残したい、伝えたい、大切な淡路遺産です。(応援隊:瀬戸由美子)

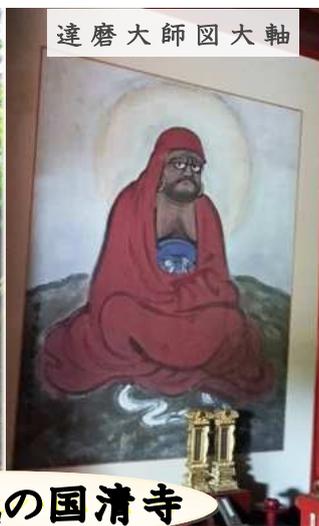
所在地：洲本市宇山2丁目5-4
電話：075-204-8965 (平日京都受付)
0799-20-1729 (イベント開催時)
イベント情報、開館日、会員情報などは、下記HPで検索
<http://www.shunyoso.jp/> (または文化財春陽荘で検索)



応援隊
認定
淡路遺産

国清寺

南画の大家
直原玉青画伯の名画が
鑑賞できるお寺です。



達磨大師図大軸

お宝満載の国清寺

国清寺二十六代住職であり南画家直原玉青作「江湖風月集」の襖絵、その他にも希少な作品類が展示されています。



問い合わせ先：国清寺住職 浜端 靖直さん
住所：南あわじ市松帆西路689
電話：(0799) 37-3781
www.kokusei-temple.jp



「牡丹寺」とも呼ばれる国清寺



「国青寺」と「玉青館」で
芸術の秋を堪能しませんか

座禅研修も
しています。



茶室素軒



西淡インターから程近い山すそにある国清寺はボタン寺として知られています。本堂には南画の祖である逸然禅師が祀られ、襖絵はすべて先々代の住職で近代南画の大家である直原玉青師によって描かれた素晴らしい南画です。(江湖風月集)

また玉青師がお寺を再興されたときにたくさんのボタンを植えられたことから、ボタンが描かれた襖に囲まれた部屋や書などさまざまな作品がみられる、お宝満載のお寺です。

現在住職をされている浜端靖直さんは、「こんな田舎のお寺やけど、じいちゃん(玉青先生)が残したすごいものを、たくさんの人に見に来てもらいたい。」とパンフレットの作成や施設の整備に忙しくおられます。

境内には、阪急電車の創始者、小林一三さんの愛した茶室素軒、達磨大師図大軸、その他にも貴重な作品類が展示されていますので、徒歩数分の美術館「玉青館」と併せて堪能されてみてはいかがでしょうか？お寺では、60分の座禅研修もおこなっています。

(応援隊：浜田 泰美、岡 八代井)

残したいあんなもの、こんなもの



～ふるさとの古民具・古農具～



洲本市安乎
藤岡佐太郎さん

古民家や古道具を大切に保存しています。

田植え定規



今、古民家を改修し、宿泊施設やカフェ・ギャラリーや工房などとして生まれ変わっているところが増えています。では、そこで使われていた道具・家具などはどうなっているのでしょうか。昭和40年から50年代にかけて農業の機械化が一気に進む中で、古農具は処分されたり、倉庫の片隅に追いやられてほこりをかぶったりするようになりました。古民具も、再生されて活用されていたり、地域の民俗資料館などに集められて保存・展示されている例もありますが、多くは民家から姿を消しました。

先日、洲本市安乎の藤岡佐太郎さんを訪ねました。築250年以上という古民家にお住まいで、倉や別棟に多くの古農具や古民具を保存しておられます。「こんな道具、昔、家にもあったなあ。残しておけばよかったなあ。」と思いながら、本当に懐かしく見せていただきました。地域の小学生が毎年社会見学で訪れ、昔の生活の様子について学んでいるとのことでした。いくつかの古農具と古民具をあげてみましょう。



マンゴク 万石・米選機

古農具

名称	用途
唐箕(トウミ)	穀物を風力で殻・実・塵に選別する。
田植定規(ジョウギ)	田植え時、苗の間隔を一定に揃える。
万石(マンゴク)	斜めの金網で穀粒と殻にふるい分ける。



トウミ 唐箕

オヒツイレ お櫃入れ



古民具

ヤナギコウリ 柳行李



トクリ 通し徳利

名称	用途
唐柳行李(ヤナギコウリ)	竹、柳、籐などででき、衣料や雑物を入れる。
お櫃入れ(オヒツイレ)	ごはんが冷めないようにお櫃を入れる。
通し徳利(トクリ)	酒、醤油、油などを貯蔵する。

古民具は、日常的に人々の生活の身近なところにあつたもので、いろいろな場面で暮らしに深く関わってきました。そして、古農具も工夫を凝らしたつくりになっていて、農業と共に生きてきた暮らしぶりが伝わってくる思いがします。

農具や民具は生業や生活の中で使われてこそ、その価値は発揮されるものです。しかし、今は使われなくなった数多くの農具・民具も、私たち日本人の生きざまを示しているものとして、その価値を再発見し、後世に伝えて行きたいものです。(応援隊:中田 浩嗣)



※お問い合わせ先: 藤岡 佐太郎さん

洲本市安乎平安浦906 TEL 0799-28-0601





かべつどのフェニックス

淡路市室津陸伝(かべつど)

はるか向こうに小豆島が見え、波の音を聞きながら播磨灘に夕日が静かに下りていく情景は、何もかも忘れさせる雰囲気があります。

佐野保育所

樹齢1000年の大楠

園庭の真ん中に1本ドーンと構え、毎日地域の人たちや園児の幸せを願って見守ってくれています。夏は自然の冷房、冬は自然の暖房で、木の下で園児たちは太鼓の練習、プール遊びなどを楽しんでいます。島内外からの見学者もあります。



常隆寺 天然木

スダジイアカガシ群落

秀峰常隆寺を中心に12,000平方メートルにわたって群生している天然林で、樹齢200~300年。うっそうと繁った天然林には各種の小鳥が生息しています。
兵庫県指定文化財



大野小センダンの木の根っこ



淡路遺産

木

残したい、守りたい

巨木・名木・美木・奇木...



東山寺のもみじ

淡路市長寿

秋には赤、黄色のもみじがライトアップで山寺の静かな佇まいを鮮やかに醸し出しています。



洲本市五色町鮎原

洲本市五色町都志



河上天満宮のイブキ

・「河上のイブキが息を吹きかえす」(『五色いろはがるた』より)
火事で焼けても蘇った。本殿方向へ約45度傾く。樹齢600~1000年?
・菅原道真公のお手植えとされています。

高田屋嘉兵衛屋敷公園のラッパイチョウ

- ・ラッパ状の葉をつける珍しいイチヨウ (全体の3%程度)
- ・ラッパイチョウまつりのシンボル (応援隊：中田)

ラッパ状の葉がいくつか見られます。



洲本市大野

大野小学校センダンの木

大野小学校のシンボルとなっている「センダン(楠檀)の木」は、幹回りが約4メートルの大木で、明治43年ごろに植樹されたと伝えられています。アオバスクの鳥が住み着いていました。学校のシンボルマークになっています。(応援隊：田処)

堀からニョッキっ! ど根性モチの木



南あわじ市志知

南あわじ市志知県道31号を走っていて目にするこの大きな木。堀を突き破り県道に覆い被さるように伸びた大きな木。見たことがあるのではないのでしょうか。聞くと樹齢250~300年のモチの木。持ち主は土居耐嗣さん(79)。江戸も明治も戦争も見てきた大きな木も安全面を考えて9月上旬に伐採されました。いつまでも記憶に残したい木です。(応援隊：村上)



阿万小学校 くすの木



明治40年(1907年)阿万尋常小学校卒業生が記念に十数本のくすの木を植えました。昭和59年にグラウンドを掘り起し、根の養生を行い、今も2本の木が残っています。木陰で子どもたちが集まって遊んだり、体操をしたりしています。(会館：安井)

淡路文化会館

いざなぎ学園 60歳から始める大学

シニア世代の生涯学習講座「いざなぎ学園」を体験してみませんか？

オープンキャンパス

○実施日:11/1⑧・11/29⑧・12/13⑧・1/10⑧・2/14⑧

○会場:兵庫県立淡路文化会館

○体験の日程と内容

9:00 受付

9:30 日程等の説明(募集説明会)

9:00~11:45 講座見学

①11/ 1⑧ 「北前船」or「くすりの正しい使い方」(選択コース)

②11/29⑧ 「若年層の犯罪、自殺等の問題」

③12/13⑧ 「最新の天気予報事情」

④ 1/10⑧ 「大道芸」

⑤ 2/14⑧ 「現代の食生活事情」

13:15~15:00 講座等見学

① 学年別講座 ②~⑤サークル活動

***参加費無料**
***午前中のみ参加可**
***事前申し込みは不要**
(当日受付)

平成30年度 受講生募集期間(先着順)

平成30年1月10日~4月13日

人形浄瑠璃街道推進事業

淡路島民俗芸能フェスティバル

日時 **11月19日(日)** 13:00~16:35

場所 淡路文化会館 講堂

淡路島内各地に受け継がれている伝統芸能や郷土芸能、新興・創作芸能をお楽しみください!

○オープニング

・よさこいYAWAJ・あわ神ダンス

淡路市立多賀保育所

○人形浄瑠璃

・傾城阿波鳴門 順礼歌の段 すだち座(徳島県)

・増補大江山 戻り橋の段

兵庫県立淡路三原高等学校

○だんじり唄

・傾城阿波鳴門 順礼歌の段 福井子供会祭礼団

・岸壁の母

五色之姫

・仮名手本忠臣蔵九段目 山科隠れ家の段

三原だんじり唄保存会青年部

○踊り・獅子舞

・津名町小唄

津名町小唄愛好会

・盆踊音頭「常六さん」

東浦盆踊音頭保存会

・阿波おどり

舞女流華連

・土橋

緑五尺おどり保存会

・子ども獅子

細工町子ども会

・阿万の風流大踊小踊

阿万風流踊保存会

・輝く淡路市(音頭バージョン)

「輝く淡路市」を広める会

兵庫県淡路消費生活センターからのお知らせ

アダルトサイトの新たな手口に要注意!

【手口】

スマホでネット検索をしていたら、突然、「カシャ」と音がしてアダルトサイトに切り替わってしまった。顔を撮影され、業者に送信されたと思い、表示されていた連絡先に連絡したところ、「退会するには3万円が必要だ」と高額な請求を受けた。



【防止策】

ウェブサイトを閲覧するだけで、スマホのカメラを操作したり、撮影した画像を送信させたりすることはできません。業者は連絡させる事が目的です。慌てて業者に連絡しないようにしましょう。不安な時は消費生活センターにご相談ください。

イベント情報

Awaji Art Circus 2017

淡路にいなから世界旅行!?



本イベントでは、世界18カ国から厳選された海外アーティストが淡路島の各所でアトラクションを披露します。驚きのパフォーマンスを見て、体験して、素敵な写真を撮って、アーティストと交流して...日本にいるとは思えない!「世界」を感じながら、淡路島の魅力あふれる場所を巡るあなただけのアートの旅に出掛けませんか?

日 9月30日⑧~11月5日⑨ 時 12:00~16:00 18:30~20:30 ※火曜・水曜休み 場 淡路島内20カ所※曜日によって開催会場が異なるため、詳しくはHPをご覧ください。 ¥無料

問 Awaji Art Circus実行委員会事務局

☎0799-73-2280 HP:awajiartcircus.com

SODA設立6周年記念

いのちのフォーラム

○講演 産声を上げるとき 息を引き取るとき

~ホスピスの現場から~

内藤いづみさん(ふじ内科クリニック院長)

○ふたりでトーク 「まんまんぱつ」から始まって!

内藤いづみさん×長野ヒデ子さん(絵本作家)

○心のコンサート 「いのちを歌う...」

小林 啓子 さん(歌手)

日 10月9日⑧ 14:00~17:00

場 南あわじ市中央公民館(南あわじ市市三條880)

¥ 大人2,000円 高校生以下500円 問 NPOソーシャルデザインセンター淡路 ☎0799-42-0399

兵庫県淡路消費生活センター

消費生活相談・多重債務相談

☎0799-23-0993

9:00~12:00 13:00~16:30

(土日祝日・年末年始は除く)





◆洲本市民交流センター

所 〒656-0054 洲本市宇原1788-1
☎0799-24-4450 ㊟0799-24-4452

洲本フォトサークル第50回写真展

会員の1年間の活動の成果を発表
㊟10月1日㊟～25日㊟ 16:00
時 9:00～21:00 ㊟月曜休館
㊟1階アールギャラリー ㊟観覧無料

第2回 すもと芸術祭

洲本市で活動している古典芸能や舞踊団体の舞台発表です。

㊟10月1日㊟
時 13:30開演 ㊟ビバホール
㊟入場無料

◆淡路市立アソンプレホール

所 〒656-2401 淡路市岩屋2942-17
☎0799-72-5321 ㊟0799-72-5322

第25回歳末助け合い運動アソンプレ歌謡祭 **募集**

10月5日㊟より出演者募集開始
㊟12月3日㊟ 時 19:00～
㊟アソンプレホール 詳しくはお問い合わせください。

健康体操

㊟10月7日㊟ 14日㊟ 21日㊟
28日㊟ 時 10:00～11:00 ㊟アソンプレホール・岩屋体育センター
㊟1回500円

ウクレレ教室

㊟10月21日㊟ 時 13:30～15:00
定 20名先着順 ㊟1回500円 ㊟アソンプレホール

◆南あわじ市滝川記念美術館 玉青館

所 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1
☎0799-36-2314 ㊟0799-36-5408

立原えりかの「グリム童話」絵本原画展

㊟10月1日㊟～12月3日㊟
時 9:00～17:00(入館は16:30まで)
㊟月曜休館 ㊟大人300円、高大生200円、小中生100円※小中生は「ココロンカード」又は「のびのびパスポート」の利用で入館無料

◆淡路人形座 10月公演

所 656-0501 南あわじ市福良甲1528-1地先
☎0799-52-0260 ㊟0799-52-3072

タイトル「阿波十」

定時公演

㊟詳しい日程はお問い合わせください。
時 10:00、11:10、13:30、15:00
㊟毎週水曜日

①「人形解説」傾城阿波の鳴門順礼歌の段」

㊟大人1,500円 中高生1,300円 小学生1,000円 幼児300円

②「人形解説」戎舞」

㊟詳しい日程はお問い合わせください。
㊟大人1,000円 中高生800円 小学生600円 幼児200円

③ワークショップ

㊟詳しい日程はお問い合わせください。
㊟大人500円 中高生400円 小学生300円 幼児100円

臨時公演

30名様以上・15日前までに予約必要 時 9:00、16:00

※上演時間・内容が変わる場合あり

◆淡路市立しづかホール

所 〒656-2131 淡路市志筑新島5-4
☎0799-62-2001 ㊟0799-62-6465
㊟火曜休館

しづか少年少女合唱団

一緒に歌って楽しいひと時を過ごしましょう!

㊟10月14日㊟ 28日㊟ 時 14:00～15:30 師 濱田 美那氏
㊟1,000円/月 ※無料体験有

色のカルチャー教室 inしづかホール

10月より新たに「お仕事」に活かせる内容を月ごとにテーマを変えてお送りします。

㊟10月12日㊟ 時 19:00～20:00
講 奥野 香代氏 ㊟2,000円
㊟月1回60分 全6回シリーズ

International AWAJ Kids Room

㊟10月4日㊟ 18日㊟ 時 15:30～16:30 ㊟500円/回

◆洲本市文化体育館

所 656-0021 洲本市塩屋1-1-17
☎0799-25-3321 ㊟0799-25-3325

○三美会 日本画 洲本展

時 10月7日㊟～9日㊟ 10:00～17:00 (最終日16:00まで)

㊟無料 ㊟会議室1A

○第3回洲本市民音楽祭

時 10月8日㊟13:30開演 ㊟無料
㊟文化ホール『しばえもん座』

○中田丈次 打楽器・マリンバリサイタル

時 10月15日㊟14:00開演 ㊟前売1,000円 当日1,500円 ㊟文化ホール『しばえもん座』

○淡路島ウクレレhi coca

時 10月22日㊟13:30開演 ㊟参加費500円 ㊟会議室2C

○TsuYoSHIセカンドリサイタル2017

時 10月27日㊟18:00開演 ㊟前売2,800円 当日3,300円 ㊟文化ホール『しばえもん座』

○第4回声楽リレー

時 10月28日㊟13:00開演 ㊟入場無料 ㊟文化ホール『しばえもん座』

◆淡路市立サンシャインホール

所 〒656-2305 淡路市浦148-1
☎0799-74-0250 ㊟0799-74-0256

サンシャイン太鼓教室

㊟10月17日㊟24日㊟ 時 ㊟ジュニア17:30～18:30 800円/回
フリー19:00～20:30 1,000円/回 ㊟サンシャインホール舞台

第23回 ひがしうら寄席

サンシャイン毎年恒例の落語イベント
㊟10月15日㊟ 時 14:00開演 (13:30開場) ㊟サンシャインホール舞台 ㊟前売チケット: 一般1,000円 学生・70歳以上・障害者手帳保持者500円 当日は200円増

サンシャインホール20周年「音楽祭」

太鼓、三味線、シャンソン、少年少女合唱団、凜々倶楽部
㊟10月1日㊟ 時 14:00～
㊟入場無料

ふだんぎロビーコンサート

㊟10月14日㊟ 時 14:00～14:40 ㊟サンシャインホール1階ロビー ㊟観覧無料



◆淡路文化会館

所 〒656-1521 淡路市多賀600
☎0799-85-1391 ㊟0799-85-0400
時 9:00～17:00 ㊟入場無料

淡路市人権尊重ポスター・標語展

㊟10月1日㊟～5日㊟ ㊟県民ギャラリー

兵庫県学ぶ高齢者のついで 淡路ブロック大会作品展

各高齢者大学の講座・クラブ活動等の時間に制作された作品150点
㊟10月12日㊟～18日㊟16:00
㊟美術展示室・県民ギャラリー

2017兵庫県文化賞受賞者 小品展

日本画・洋画・彫塑・工芸・書・陶芸
㊟10月19日㊟13:00～22日㊟
㊟美術展示室

草木彫漆器小品展

1枚の板から立体的に浮彫を行い漆をかけて仕上げた工芸作品
㊟10月23日㊟～11月4日㊟16:00
㊟県民ギャラリー

津名フォトクラブ展

㊟10月29日㊟～11月12日㊟
㊟美術展示室

◆兵庫県立淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」

所 〒656-2306 淡路市夢舞台4
☎0799-74-1200 ㊟0799-74-1201
時 10:00～18:00(最終入館17:30)
㊟特別展会期中(9月23日～11月12日) 入館料大人1,500円、70歳以上(要証明)750円 ※高校生以下無料

特別展あわじガーデンネサンス2017

日本の美意識が創る花緑の世界
㊟9月23日㊟～11月12日㊟

阿部一成 篠笛コンサート「音に遊ぶ」

㊟10月8日㊟ ㊟阿部一成(篠笛)
溝端健太(和太鼓) ㊟観覧無料

第3回アレンジ着物コンテスト 募集

出演者募集中
㊟10月28日㊟ ㊟観覧無料

淡路花祭 2017 秋

「高校生花とみどりのガーデン」やシンボルオブジェ「渦潮と大鳴門橋」の展示のほか、クイズラリーを島内各所で開催します。

時 ～11月5日㊟ 詳しくはHP「淡路花祭」
問 (一財)淡路島くにうみ協会
☎0799-24-2001

◆春陽荘

所 洲本市宇山2丁目5-4
☎0799-20-1729 075-204-8965

一般社団法人設立特別記念公演 三原中学校郷土部

㊟10月7日㊟ 時 第一部13:00 第二部15:00 ㊟①戎舞②伊達娘恋緋鹿子 八百屋お七 火の見櫓の段
㊟各部指定20名事前予約(締切9/29) 当日立見10名
㊟一般指定:2,000円・学生1,500円(前売りは500円引き)
立見一般:1,500円 学生1,000円
予約はHPを確認ください。
<http://shunyoso.jp/event/awajipuppet2017/>

◆淡路島国営明石海峡公園

所 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10
☎0799-72-2000 ㊟0799-72-2100

秋のカーニバル

㊟～11月5日㊟ 時 9:30～17:00(11月は～16:30) ㊟イベントにより異なる(別途入園料、駐車料金が必要)

無料入園日

㊟10月14日㊟ 時 9:30～17:00
㊟入園無料※駐車料金必要

コスモスのつみとり体験

㊟10月21日㊟ 22日㊟ 28日㊟ 29日㊟ 時 13:30～15:30 場 大地の虹、ポプラの丘 ㊟参加費無料(別途入園料、駐車料金が必要)

第4回淡路島くにうみ講座

「生命つながる環境の島」

講師 桑原 征平 氏(元関西テレビアナウンサー)

講師の豊富な知識と経験から、環境問題を中心に、地域資源を生かしながら持続できる環境の島づくり等について、お話しいただきます。

㊟10月29日㊟ 14:00～15:30(開場13:30)

場 洲本市文化体育館(洲本市塩屋1-1-17) 定300名 ㊟無料※事前

申し込み必要 ㊟10月27日㊟ 問 (一財)淡路島くにうみ協会

☎0799-24-2001 FAX 0799-25-2521

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、月に3,500部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約230カ所に無料配布しています。今後ともご愛読よろしくお願ひします。また、読者の皆さまからの便り、情報をお待ちしています。淡路文化会館のホームページにも掲載していますので、是非ご覧ください。

(発行) 淡路生活創造応援隊 淡路文化会館・淡路文化会館運営協議会

㊟656-1521淡路市多賀600
☎0799-85-1391 ㊟0799-85-0400
E-mail: a-pocket@hyogo-ikigai.jp
<http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/>

編集後記: 文化の秋! 食欲の秋! スポーツの秋! 秋を満喫しましょう!

(会館: 安井)

私たちはポケットあわじを応援します。

